

「桜通勤 (4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京では 12 月の平均気温が高いと、桜の咲き始めから満開までの時間が長くなる傾向にあるという。今年はそのに該当し、10 日もかかったそうだ。そういえば、通勤中に見る桜の木々も、ずっと満開が続いているような気がする。



有名な小石川播磨坂の桜並木。文京区にも桜の名所は多いが、ここは屈指の一つだろう。小石川4丁目と5丁目の境にある広い道路(もともとは、環状三号線の一部として建設された道。)の、両側と中央の歩道にある桜が、見事に満開になっている。夜になると、夜桜見物の宴席がいくつもできるのだが、ここ数日は寒かったにちがいない。



通勤経路からは離れるが、播磨坂の下まで、自転車で行ってみた。本当に一気に咲いて、一気に散ってしまうのが惜しいほど、見事な桜並木である。



教育の森公園にも寄ってみた。ここにある階段状の「観覧席」は、集合写真を撮るのにちょうど良い。



教育の森公園の脇の道。遠足で歩かせた歩道だ。



少し離れた「大塚仲町公園」の桜の古木も見事だ。